



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 市光工業株式会社

コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) オードバディ アリ

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 白土 秀樹

TEL 0463-96-1442

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	48,433	10.9	93	—	229	△65.1	0	△100.0
27年3月期第2四半期	43,678	3.0	△155	—	656	116.6	479	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,383百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1,324百万円 (94.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0.00	—
27年3月期第2四半期	5.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	85,296	23,003	25.3	225.07
27年3月期	87,216	24,561	26.2	237.98

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 21,582百万円 27年3月期 22,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
28年3月期	—	1.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	101,700	8.0	1,500	191.3	2,400	△23.0	1,500	△36.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 96,036,851 株 | 27年3月期 | 96,036,851 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 143,256 株 | 27年3月期 | 139,564 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期2Q | 95,894,628 株 | 27年3月期2Q | 95,902,501 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、継続的な円安基調を背景に企業収益は堅調に推移しました。また、雇用・所得環境の緩やかな改善に伴い個人消費は底堅く推移し、全体的には緩やかな回復基調が継続しました。世界経済においては、北米は個人消費の増加による内需の底堅さから好調な傾向を示した一方、中国及びアセアンなどの新興国では、中国経済の鈍化等により先行き不透明な状況となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、当第2四半期において、国内では、本年4月の軽自動車増税などの影響を受けて、自動車生産台数は前年同期比で減少致しました。アセアンにおいては、タイは、昨年度にあった自動車減税政策の反動などから国内需要は低調であったものの、輸出の回復により上期の自動車生産台数は前年同期比で増加となり、マレーシアは本年4月に導入された物品・サービス税などが影響したため消費は低調で、自動車生産台数は前年同期並みとなりました。また、インドネシアは、インフレ抑制を目的にした利上げや、財政赤字削減を目的とした燃料補助金削減によるガソリン価格上昇などにより、自動車生産台数は前年同期比で大幅に減少し、アセアン3ヶ国の合計では、前年同期比で減少致しました。中国においては、不動産市場を中心にした投資の鈍化や株価下落の影響により景気の先行き不透明感が高まり、自動車需要は鈍化傾向で自動車生産台数も前年同期比で減少致しました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、中国の関係会社の完全子会社化の影響やタイ子会社の売上増の影響などから売上高は48,433百万円（前年同四半期比10.9%増）と増収を確保しました。また、生産能力の増強投資や人材の先行採用など成長のための先行費用の増加などはあったものの、タイ子会社の赤字幅が縮小したことなどから、営業利益93百万円（前年同四半期は営業損失155百万円）と営業利益は黒字転換致しました。しかしながら、為替差損益の影響がプラスからマイナスに転じたことなどから、経常利益は229百万円（前年同四半期比65.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（前年同四半期比100%減）と減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、中国の関係会社の完全子会社化の影響やタイ子会社の売上増の影響などから、売上高は44,157百万円（前年同四半期比12.8%増）と増収を確保し、タイ子会社の赤字幅が縮小したことなどから、営業利益は161百万円（前年同四半期は営業損失115百万円）と黒字転換致しました。

②用品事業

用品事業におきましては、取扱品目の拡大等により売上高は4,140百万円（前年同四半期比7.1%増）と増収となり、営業損失は37百万円（前年同四半期は営業損失107百万円）と赤字幅が縮小しました。

③その他事業

その他事業におきましては、売上高は897百万円（前年同四半期比27.6%減）、営業損失は51百万円（前年同四半期は営業利益56百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末における総資産は85,296百万円となり、前期末比1,919百万円の減少となりました。主な要因は、その他流動資産の減少1,155百万円、投資有価証券の減少927百万円等であります。

負債は62,293百万円となり、前期末比361百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少290百万円、短期借入金の減少1,006百万円、退職給付に係る負債の減少257百万円、繰延税金負債の減少308百万円、長期借入金（1年以内返済予定分を含む）の増加1,379百万円等であります。

純資産は23,003百万円となり、前期末比1,557百万円の減少となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少580百万円、為替換算調整勘定の減少736百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動により獲得した資金は2,568百万円（前年同四半期は1,991百万円の収入）となりました。主な増加要因は、減価償却費2,884百万円、売上債権の減少576百万円等であり、主な減少要因は、持分法による投資利益の計上396百万円、製品保証引当金の減少175百万円等であります。

投資活動により支出した資金は1,546百万円（前年同四半期は2,646百万円の支出）となりました。主な増減要因は、有形固定資産の取得による支出4,868百万円、有形固定資産の売却による収入3,190百万円等であります。

財務活動により支出した資金は1,527百万円（前年同四半期は215百万円の支出）となりました。主な増減要因は、長期借入れによる収入2,999百万円、長期借入金の返済による支出1,620百万円、リース債務の返済による支出1,726百万円、短期借入金の純減額1,006百万円等であります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、「平成27年3月期決算短信」発表時（平成27年5月15日）の予想を変更しております。詳細は、本日公表しました「平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照下さい

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,092	9,484
受取手形及び売掛金	17,553	17,356
電子記録債権	1,316	1,298
商品及び製品	4,300	3,988
仕掛品	391	465
原材料及び貯蔵品	3,070	3,126
繰延税金資産	68	98
その他	4,381	3,225
貸倒引当金	△125	△140
流動資産合計	41,051	38,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,172	9,280
機械装置及び運搬具（純額）	7,166	8,537
工具、器具及び備品（純額）	2,364	2,135
土地	3,637	3,589
リース資産（純額）	3,339	4,683
建設仮勘定	4,132	2,567
有形固定資産合計	29,811	30,794
無形固定資産		
のれん	1,234	1,098
その他	1,657	1,515
無形固定資産合計	2,891	2,614
投資その他の資産		
投資有価証券	7,351	6,423
長期貸付金	1,425	1,468
繰延税金資産	291	226
その他	4,402	4,872
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	13,462	12,984
固定資産合計	46,165	46,393
資産合計	87,216	85,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,725	18,434
短期借入金	1,979	973
1年内返済予定の長期借入金	3,320	4,212
リース債務	2,538	2,779
未払法人税等	140	153
未払費用	2,318	2,586
賞与引当金	1,628	1,723
役員賞与引当金	41	33
製品保証引当金	1,512	1,332
その他	2,544	2,427
流動負債合計	34,749	34,656
固定負債		
長期借入金	12,977	13,465
リース債務	3,632	3,426
繰延税金負債	1,490	1,181
退職給付に係る負債	9,588	9,331
資産除去債務	171	188
環境対策引当金	11	10
その他	33	33
固定負債合計	27,905	27,636
負債合計	62,655	62,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	2,708	2,708
利益剰余金	9,291	9,147
自己株式	△33	△34
株主資本合計	20,896	20,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,630	2,050
繰延ヘッジ損益	△82	△11
為替換算調整勘定	△261	△998
退職給付に係る調整累計額	△361	△210
その他の包括利益累計額合計	1,924	830
非支配株主持分	1,739	1,420
純資産合計	24,561	23,003
負債純資産合計	87,216	85,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	43,678	48,433
売上原価	34,945	39,349
売上総利益	8,732	9,084
販売費及び一般管理費	8,887	8,990
営業利益又は営業損失(△)	△155	93
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	89	106
固定資産賃貸料	156	20
持分法による投資利益	398	396
為替差益	260	—
その他	126	187
営業外収益合計	1,049	731
営業外費用		
支払利息	155	174
固定資産賃貸費用	43	10
為替差損	—	386
その他	38	24
営業外費用合計	237	595
経常利益	656	229
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産処分損	32	61
特別損失合計	32	61
税金等調整前四半期純利益	626	169
法人税等	168	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458	△67
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	△67
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	0

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458	△67
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	336	△605
為替換算調整勘定	206	△1,024
繰延ヘッジ損益	—	70
退職給付に係る調整額	604	151
持分法適用会社に対する持分相当額	△281	93
その他の包括利益合計	866	△1,315
四半期包括利益	1,324	△1,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,285	△1,094
非支配株主に係る四半期包括利益	39	△288

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	626	169
減価償却費	2,355	2,884
のれん償却額	—	109
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73	104
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△340	△175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	366	△78
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△196	△0
受取利息及び受取配当金	△107	△126
支払利息	155	174
持分法による投資損益 (△は益)	△398	△396
有形固定資産売却損益 (△は益)	29	59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	△114
売上債権の増減額 (△は増加)	122	576
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,914	△36
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,658	△63
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	436	217
その他	△538	△575
小計	2,323	2,728
利息及び配当金の受取額	272	219
利息の支払額	△154	△174
法人税等の支払額	△450	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,991	2,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56	△6
定期預金の払戻による収入	359	—
有形固定資産の取得による支出	△4,468	△4,868
有形固定資産の売却による収入	1,464	3,190
無形固定資産の取得による支出	△71	△16
投資有価証券の売却による収入	—	151
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
その他	135	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,646	△1,546

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6	△1,006
長期借入れによる収入	3,300	2,999
長期借入金の返済による支出	△1,963	△1,620
セール・アンド・リースバックによる収入	524	—
リース債務の返済による支出	△1,214	△1,726
配当金の支払額	△143	△143
非支配株主への配当金の支払額	△711	△30
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215	△1,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	208	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△661	△614
現金及び現金同等物の期首残高	11,297	10,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,635	9,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,159	3,725	42,885	792	43,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	139	139	447	586
計	39,159	3,864	43,024	1,240	44,264
セグメント利益又は損失(△)	△115	△107	△222	56	△166

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△222
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△155

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,153	3,702	47,856	577	48,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	437	442	320	762
計	44,157	4,140	48,298	897	49,196
セグメント利益又は損失(△)	161	△37	123	△51	71

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	123
「その他」の区分の利益	△51
セグメント間取引消去	22
四半期連結損益計算書の営業利益	93